

進級・入園おめでとうございます。

今年の春の訪れは、例年より少なかった積雪に加え、ドカ雪に見舞われた本州や道内他都市と異なり、旭川は暖かい日が続いた事と相まって、例年以上のスピードで雪解けが進みました。3月24日の東京出張の折には6分咲きの桜を見ることが出来ましたので、桜前線の北上に伴い北海道上陸は函館4月22日、札幌4月24日と続き、旭川は連休入口の4月29日予報が出ております。昨年同様のお花見が出来そうですが、気温次第で早まる可能性もありますから、あまりゆっくりしすぎると桜が散った後の花見に成りかねませんから、気温のチェックと「お団子」の準備はお忘れにありませんように……

令和8年度の旭川あかしあ認定こども園の新入園のお友達は20名を超え、4月初より100名を超える園児でのスタートとなり、少子化の中にあって定員を超えて4月を迎える事、保護者皆様に感謝申し上げます。

当園は昭和57年4月開園ですので、今年で45回目の入園式となり、あと5年で半世紀を経過することになります。開園当初の旭川市の人口は35万5千人に達しており、人口がピークとなる平成9年12月には36万5千人までになり、「人口37万人」にあと一息の所までだったのですが、そこから人口減少が止まらず今年3月現在で31万1千人と、約30年で5万人以上も減少したことになります。3月末の市役所は転出入の方々で大変混雑しておりましたが、「転入者で一杯！」になるような魅力的な旭川市になる事を心から願ってます！

4月に入り、こども園の中も新年度を迎え、新入園の子ども達は今までのご家庭での生活との違いに、不安や戸惑いを感じることもあると思います。

また、進級の子も達もクラスのお友達や担任の先生が変わるなど、昨日までとは少し違った感じで過ごしていることと思いますが、私共こども園職員も、子どもたちの気持ちをしっかり受け止め、子ども達にとって楽しい生活の場、学びの場となるよう努めて参りたいと思います。どうか宜しくお願い致します。

